



活動報告

2010/04/09

【民主党 さいたま市議団】 学校警備員配置事業について要望書を提出しました(回答がありました)



2010年3月12日に、民主党・無所属の会さいたま市

議団、みどりの風さいたま市議会議員団、さいたま未来の会市議会議員団の3会派の連名で、清水勇人市長あてに、学校警備員配置事業に関する要望書を提出しました。

要望内容については、以下の通りです。

さいたま市長 清水勇人様

学校警備員配置についての要望書

さいたま市においては、平成18年1月から市内すべての小学校及び特別支援学校に警備員が配置され、正門での警備や通学路内での巡回が実施されているところです。

通学時の児童の安心安全対策は、学校と地域、行政と市民との協働によって進められるべきであり、〈地域力〉の充実が今後の方向性であることは、充分理解するものです。

平成22年度から警備員配置の見直しが進められますが、地域への説明に万全を期すためにも、その準備に特段の配慮いただくことを要望します。

2010年3月12日

民主党・無所属の会さいたま市議団 団長 神崎功
みどりの風さいたま市議会議員団 団長 松本敏雄
さいたま未来の会市議会議員団 団長 長谷川浄意

上記の要望に対して、清水市長から回答がありました。

民主党・無所属の会さいたま市議団 団長 神崎功 様

みどりの風さいたま市議会議員団 団長 松本敏雄 様

さいたま未来の会市議会議員団 団長 長谷川浄意 様

児童の安全確保について

児童の安全確保につきましては、日頃よりご協力をいただきありがとうございます。「学校警備員配置についての要望書」につきまして、ご回答申し上げます。

これまで、各小学校では、業者委託による学校警備員を配置するとともに、防犯ボランティアを中心に、地域の方々が連携する「学校安全ネットワーク」を構築し、児童の安全確保に取り組んでまいりました。

今後は、「校門立哨ボランティア」を含めた「学校安全ネットワーク」を拡充し、段階的に業務委託による学校警備から、地域の目で学校を守る体制へ重点を移してまいりたいと考えております。

そのために、平成22年度の1学期間は、これまでどおり学校警備員を終日配置し、この間に「学校立哨ボランティア」による見守りを順次開始してまいります。

その後、しばらくの間は、学校警備員を半日配置とし、地域の目で学校を守る体制のさらなる充実を図りますが、学校の実態に応じて、学校地域連携コーディネーターが安心安全活動を行うなど、適切に対応してまいります。

なお、ご要望にありますように、PTA、自治連合会、青少年育成会などの地域諸団体の皆様へは、きめ細かく説明し、ご理解をいただくよう努めてまいります。

今後引き続き、学校をご支援いただいております様々なボランティアの方々による、スクールサポートネットワーク（SSN）を構築する中で、児童の安全確保を含め、地域に根ざした信頼される学校づくりを一層推進してまいりますので、ご理解ご協力を賜りますようお願いいたします。

2010年3月31日

さいたま市長 清水勇人